

関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成22年度 技術情報第6号（サトウキビのカンシャコバネナガカメムシ）  
について

このことについて、下記のとおり情報をとりまとめましたので送付します。

平成22年度 技術情報第6号  
(サトウキビのカンシャコバネナガカメムシ)

種子島での本年の発生は平年より早く、第1世代幼虫の防除適期は以下のとおりと予想されるので、防除時期を失しないように注意する。

- 1 対象病害虫           カンシャコバネナガカメムシ  
2 対象作物             サトウキビ  
3 情報の内容  
  (1) 発生地域         種子島地域  
  (2) 発生時期         早い  
  (3) 発生量           平年並  
  (4) 防除適期         5月25日～6月9日

- 4 情報の根拠  
  (1) 本年の平均齢期は平年に比べて早く、1茎当たり幼虫数は平年並である（表1）。  
  (2) 向こう1か月の気温は低いと予想されている。

表1 種子島における幼虫発育推定および発生調査結果

調査場所	年次	有効積算温量による発育推定		発生調査結果		
		2齢期到達日 (450日度)	3齢期到達日 (600日度)	調査 月日	平均 齢期	1茎当たり 幼虫数
中種子町全域	H22	5月25日	6月9日	5月21日	1.71	23.4
	H21	5月26日	6月11日	5月22日	1.83	26.9
	H20	6月2日	6月17日	5月22日	1.17	48.0
	H19	5月31日	6月16日	5月24日	1.64	22.8
	H18	5月31日	6月15日	5月25日	1.41	27.6
	H17	5月28日	6月15日	5月23日	1.44	19.5
	H16	5月29日	6月12日	5月20日	1.59	28.6
平年		—	—	—	1.51	28.9

注) 発生調査結果の平年値は、平成16～21年の平均値。

- 5 防除上注意すべき事項  
  (1) 薬剤は幼虫が2～3齢の時期に、芯葉によくかかるように散布する。  
  (2) 発生が多いほ場では、15日おきに2回防除する。  
  (3) 防除薬剤については、地区防除暦または農薬使用の手引きを参照する。